

文法と文学

GLS-11L

<u>CLASSE :</u>	
<u>Jour :</u>	Lundi
<u>Horaires :</u>	13:30-15:20
<u>Niveau :</u>	B2
<u>M./Mme :</u>	M. Takahiro KUNIEDA
<u>Objectifs :</u>	文法構造、文法項目を精緻に分析しながら、フランス語で小説を読む。
<u>Descriptif :</u>	<p>20世紀を代表する知識人・思想家の一人である Simone de Beauvoir シモーヌ・ド・ボエヴォワール(1908-1986)の死後出版の小説 <i>Les Inséparables</i> 『離れがたき二人』(1954年執筆、2020年刊行)を読み始めます。ボエヴォワールといえば、フェミニズムの古典的作品『第二の性』が有名ですが、この小説は、ブルジョワ階級や宗教がもたらす因習の束縛を拒否し、自由を求めて成長していく少女の姿を通して、ボエヴォワールという人間の誕生を実感できる、新鮮さに満ちた作品です。</p> <p>文学テキストを読む楽しみは、確かに作者の想像した世界に自らも入り込むことにあります。しかし、そこで用いられている言語そのものの正確な理解なしには作品世界の理解もありえません。この授業では、文法構造、文法項目をおろそかにせず、ひとつひとつ精緻に分析することで、作品世界をよりいっそう深く理解していくことを目的とします。</p> <p>授業の構成：毎回2ページほど読みます。授業は講師が解説をし、受講者からの質問を受ける形式です。毎回5~6人の方に、それぞれ10行ほどの訳の宿題を出します。担当になった人は、次回の授業の前日までに自分の訳を電子媒体で講師に送ります。次回の授業の冒頭で添削済みの訳文を配布し、前回の復習と日本語訳の確認をしてから、新しい箇所に入ります。</p>
<u>Matériel :</u>	テキストのPDFを配布
<u>Remarques :</u>	